



美ら島沖縄

7 JULY 2022.
vol. 562

～ちゅらしまおきなわ～

特集 保全利用協定 ～自然環境の「保全」と「利用」のバランスをとるために～

読者
プレゼント

抽選で10名様に

詳細はP15を
チェック!





復帰 50 周年記念事業

～沖縄の発展のあゆみや将来の可能性、見て、知って、考える機会としよう～



「KINサンライズビーチ」が供用されます

金武湾港海岸(ギンバル地区)のこれまでの取組

金武湾港海岸(ギンバル地区)は、金武町に位置する海岸で、米軍の訓練場として本



ギンバル訓練場跡地利用計画

土復帰前から使用されてきました。平成23年7月のギンバル訓練場全面返還に伴い、金武町は当該訓練場跡地を健康と癒やしが見込めるリゾート地にするを指し、リハビリ・医療関係施設、スポーツ施設の整備を進めています。

ギンバル訓練場跡地一帯は、美しい海岸線やマングローブが群生する億首川、田芋や稲などの水を湛えた田園風景が広がる豊かな自然環境にあることから、町は地域の特性を活かした「ウェルネスの里づくり」をテーマとして跡地利用を行っています。

県は、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画にある駐留軍用地跡地の有効利用の推進の観点から、金武町にて計画されている海浜公園の整備と連携し、金武湾港海岸(ギンバル地区)において平成28年度から事業延長800m、総事業費24.9億円での護岸、突堤、養浜、植栽等の海岸環境整備事業を進めており、まもなく完了予定です。

- *護岸：海岸などの侵食の防止や海水などが陸側へ侵入するのを防ぐ施設のこと。
- *突堤：陸から海に長く突き出した堤防のこと。
- *養浜：砂を供給して海浜の造成を行うこと。

KINサンライズビーチ

金武湾港海岸(ギンバル地区)の海岸環境整備事業がまもなく完了し、供用開始予定であることから、県は復帰50周年記念事業として、供用開始式を行うとともに、金武町と連携・協力し、同事業の一環として整備した「KINサンライズビーチ」において海開き等のイベントを行います。

海岸背後の海浜公園は、金武町により管理棟1棟、倉庫3棟、トイレ・シャワー棟2棟、ピロティ1棟の整備が行われており、利用者の利便性向上を図るため、海浜部と海浜公園を町が一体的に管理することになっています。

供用開始後は、海水浴やマリンスポーツ、バーベキュー等が楽しめるようになります。「KINサンライズビーチ」の名称は、金武町により町内の小・中学校の児童・生徒を対象に公募し、188件の中から選ばれました。



金武湾港海岸(ギンバル地区) (令和4年2月撮影)



問い合わせ

海岸防災課 電話:098-866-2410 FAX:098-860-3164

5/10 「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」岸田総理ほかに手交

玉城知事は、5月7日に発表した「平和で豊かな沖縄の実現に向けた新たな建議書」を岸田内閣総理大臣、細田衆議院議長、山東参議院議長、ラーム・エマニユエル駐日米国外使（代理）、ジョン・ナイリン公使参事官へ手交しました。

総理からは、「政府としてもしっかりと受け止めたい。県民との意思疎通を図り、思いを持って建議書を読みたい。」等の発言がありました。また、総理に建議書を手交した旨、西銘沖縄及び北方対

策担当大臣にもお伝えしました。

※建議書全文は県HPにてご覧いただけます。



HP



手交の様子

5/13 日本郵便株式会社が、特殊切手「沖縄復帰50周年」贈呈

沖縄県の本土復帰50年の節目を記念し、日本郵便株式会社から、沖縄の文化・歴史・自然・産業振興をモチーフとした「特殊切手」沖縄復帰50周年」が発行され、同沖縄支社長の久田雅嗣氏より玉城知事に贈呈されました。切手は沖縄らしい色鮮やかな配色となっているほか、デザインの中に「しまんちゅ」の隠し文字が施されており、玉城知事は、沖縄で記念すべき出来事がある度に記念切手が発行されてきたことに感謝を述べました。



贈呈の様子



HP

5/15 沖縄復帰50周年記念式典の開催

国と県の共催により、天皇皇后両陛下下のオンラインでのご臨席のもと、沖縄と東京で記念式典を開催しました。沖縄会場には、岸田内閣総理大臣をはじめ、西銘沖縄及び北方対策担当大臣、全国知事会会長ほか、各界各層から多数の方々にご列席いただきました。

式典では総理や知事のほか、県民代表として高良政勝さん、県民若者代表として普天間真也さん、平敷雅さんが、これからの沖縄や平和への思いを込めた挨拶を読ま

れました。記念レセプションでは琉球舞踊、空手演武などが披露され、沖縄の文化や将来の可能性等を県内外に発信する機会となりました。



式典の様子

6/3・5/20 諸外国要人による玉城知事表敬訪問

5月20日に駐日フランス大使フィリップ・セトン氏、5月23日にパラオ共和国農業・漁業・環境大臣スティーン・ピフトル氏、5月26日に駐日パレスチナ常駐総代表部大使ワリード・アリ・シアム氏、6月3日に駐日インド大使サンジェイ・クマル・ヴァルマ氏が玉城知事を表敬訪問しました。



「パラオ共和国農業・漁業・環境大臣スティーン・ピフトル氏」



「駐日フランス大使フィリップ・セトン氏」



「駐日インド大使サンジェイ・クマル・ヴァルマ氏」



「駐日パレスチナ常駐総代表部大使ワリード・アリ・シアム氏」

今月の表紙



「沖縄のフルーツ」
山里 美紀子
沖縄の大地で生まれた、南国フルーツをみずみずしく描きました。めずらしい形や色が豊富なトロピカルフルーツを楽しむ県民のイメージを表現し、作品に仕上げました。

7 2022. JULY 美ら島沖縄 vol. 562

- 02 復帰50周年記念事業 [KINサンライズビーチ]が供用されます
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集：保全利用協定
～自然環境の「保全」と「利用」のバランスをとるために～
- 06 沖縄あんやたんかんやたん -1977年～1981年編-
- 08 食品ロス 減らして増やそうゆいまる
6次産業化における食品ロスの取組
- 09 県の動き 1 (県営住宅の入居手続きにおける連帯保証人が不要となりました)
県の動き 2 (子どもの非行・犯罪被害を防ごう！)
- 10 あの作品のロケ地へGO! 美ら島ロケ地めぐり [浦添市]
- 11 県の動き3(県立病院ビジョンを策定しました！)
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4(ハワイ留学の学費等を支援しています！)
- 15 読者プレゼント・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き 令和4年5月1日現在



沖縄県庁広報課 公式LINE @okinawa-government

沖縄県庁広報課 公式ツイッター @okinawa_pref

本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。
美ら島沖縄 検索

美ら島沖縄の設置場所
県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方々が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受付致しておりますので関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世帯向けの個別配布は致しかねます。ご了承ください。



保全利用協定



「自然環境の「保全」と「利用」のバランスをとるために」

保全利用協定とは

自然環境の「保全」と「利用」双方のバランスをとりながら、次世代に豊かな自然・文化を継承すると同時に、観光産業の持続的な発展を図る制度です。

県民の皆様も、あるフィールド(○○川でのカヌー、○○岳でのトレッキング等)、自然体験活動を行う場所)で、ガイドの案内を受け、自然環境とふれあう体験をしたことがあると思います。

保全利用協定は、そういった体験活動を行う場所の適正な保全と利用を行うために、地域住民・関係者からの意見を適切に反映しつつ、事業者(観光ツアーのガイドを行う会社等)間で自主的に策定・締結するルールです。

事業者が自ら、「自然環境に対する配慮」「安全管理に関する配慮」「地域に対する配慮」「運用上の取り決め」をルーラル化することで、自然環境の保全と地域の活性化の両立を目指します。

同制度は沖縄振興特別措置法に盛り込まれた法的な裏付けのある制度となっています。

保全利用協定と沖縄県のめざすべき将来像

保全利用協定は、沖縄県のめざすべき将来像をみんなで実現するための制度です。

同協定により、フィールドの自然や文化を保全する事業者の活動を後押しすることができま。

「それぞれの事業者が環境を損なうことなく、受け入れることのできる観光客数はどの程度か」といった環境収容力の考え方も念頭に置いた地域の利用ルールを設定するなど、自然環境の保全と地域の活性化の両立を図ることが重要になります。

フィールドの利用と保全を両立させることができる事業者がたくさん現れることで、一般の来訪者へもその意識・行動が波及していくと考えられます。

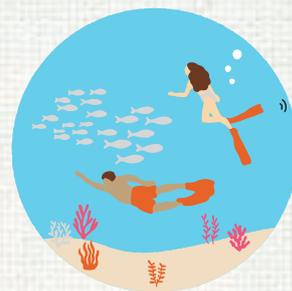
たくさんの事業者が保全利用協定を締結していくことで、沖縄県のめざすべき将来像「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」に近づくことができるんだ！



沖縄県のめざすべき将来像

沖縄は「東洋のガラパゴス」とも呼ばれるほど固有の動植物が数多く生息し、世界的にも貴重な自然の宝庫です。沖縄の自然は、世界的にも貴重な財産であることを私たちが認識し、豊かな自然を守り育みながら、持続的な発展を目指すことが重要です。

「沖縄21世紀ビジョン」で、沖縄県の目指すべき将来像として「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」が設定されています。



地域、住民にとっての 保全利用協定

保全利用協定は、「事業者間で自主的に策定・締結する」ものですが、同時に協定区域の属する地域の理解・協力が不可欠でもあります。

では地域、住民にとってどのような意味合いを持つのでしょうか。大きなポイントとして、地域資源の利用について住民が事業者の活動に対して意見や希望を伝える仕組みができることがあげられます。この制度では、地域での話し合いの場や協定の公告・縦覧、地元自治体からの意見聴取等の仕組みが設定されています。

フィールドは地域の人々が大切にしている場所でもあるし、地域と話し合いながら利用したほうがいいよなあ。



環境保全型自然体験活動(※)は、地域とのつながりの中で、社会的な貢献を生み出すことで継続的なものとなり得ます。その結果、地域から信頼を得ることができ、事業者も質の高い環境保全型自然体験活動を提供できるようになります。

※その参加者が地域の自然環境について知識を有する者から案内または助言を受け、当該地域の自然環境に配慮しつつ、自然と触れ合い、理解を深めるための活動。

保全利用協定締結地域及び事業者の紹介 (令和4年6月1日現在)

現在、保全利用協定を締結している地域をご紹介します。自然環境の保全と利用の両立を目指し、邁進されている地区・事業者になりますので、観光に訪れる際はご参考いただければ幸いです。

<p>(1) 仲間川地区保全利用協定</p> <p>協定区域: 仲間川及び周辺の森林</p> <p>活動内容: 動力船での遊覧船、カヌーでの自然観察</p> <p>締結事業者:</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社東部交通 マリンレジャー金盛 南風見ぱびよん 西表島ツアー とんとんみー シーカヤックツアー海月(くらげ) 西表ツアーガイド カラカラ 晴々(はるばる) 西表島SUPツアーNGAF シーコンパス パジャウトリップ西表フィールドサービス 	<p>(4) 普久川エリア保全利用協定</p> <p>協定区域: 普久川エリア</p> <p>活動内容: トレッキング等での自然観察及び滝つぼを含む河川内での遊泳</p> <p>締結事業者:</p> <ul style="list-style-type: none"> ホールアース自然学校沖縄校がじゅまる自然学校 自然体験うみゆくい やんばる遊び処蒼空堂 沖縄プロデュースカマダ 美ら島探検隊TLEBO One Ocean HABUASOBI わくわく屋 有限会社スピッツ おきなわさんぽ ハーモナイズ。
<p>(2) 比謝川地区保全利用協定</p> <p>協定区域: 比謝川及び周辺のマングローブ林</p> <p>活動内容: カヤックでの自然観察</p> <p>締結事業者:</p> <ul style="list-style-type: none"> ブルーフィールド(比謝川カヤック) 有限会社ネイチャートレール(イーズ) 株式会社南洋社中(海うさぎ・海あしび) 	<p>(5) 謝名瀬地区保全利用協定</p> <p>協定区域: 謝名瀬及びその周辺海域</p> <p>活動内容: スキューバダイビング及びシュノーケリングによる水中(生物)観察</p> <p>締結事業者:</p> <ul style="list-style-type: none"> ドルフィンループダイビングサービス ピリアロハダイビングサービス 潜水案内沖縄 マレア沖縄(宜野湾マリン支援センター) アルファダイブ沖縄 オアシスダイバーズ サワディダイブ サニーデイズ シーモンク 海竜潜水 サザンアイランダーダイブツアーズ DiveShop 桜海 アズワンダイブ沖縄
<p>(3) 伊部岳地区保全利用協定</p> <p>協定区域: 伊部岳登山道、オキナワウラジロガシルート</p> <p>活動内容: トレッキング</p> <p>締結事業者:</p> <ul style="list-style-type: none"> やんばるエコツーリズム研究所 	



問い合わせ

自然保護課 電話:098-866-2243 FAX:098-866-2855

帰郷を返る
50年を
沖縄を振り

沖縄あんやたん かんやたん



1977年～1981年編

2022年5月15日で沖縄が本土復帰して50年。復帰からの50年を毎年5年ごとに振り返り、主なニュースや出来事と共に紹介。その当時を知らない人は学びながら、その当時を知る人は「あんやたん、かんやたん(ああだった、こうだった)」と懐かしみながらその時代を振り返ってみましょう！

協力：沖縄県立芸術文化研究所 共同研究員 仲村 顕

盛り上がる沖縄観光！ 沖縄経済を支える 「柱」が築かれ始めた

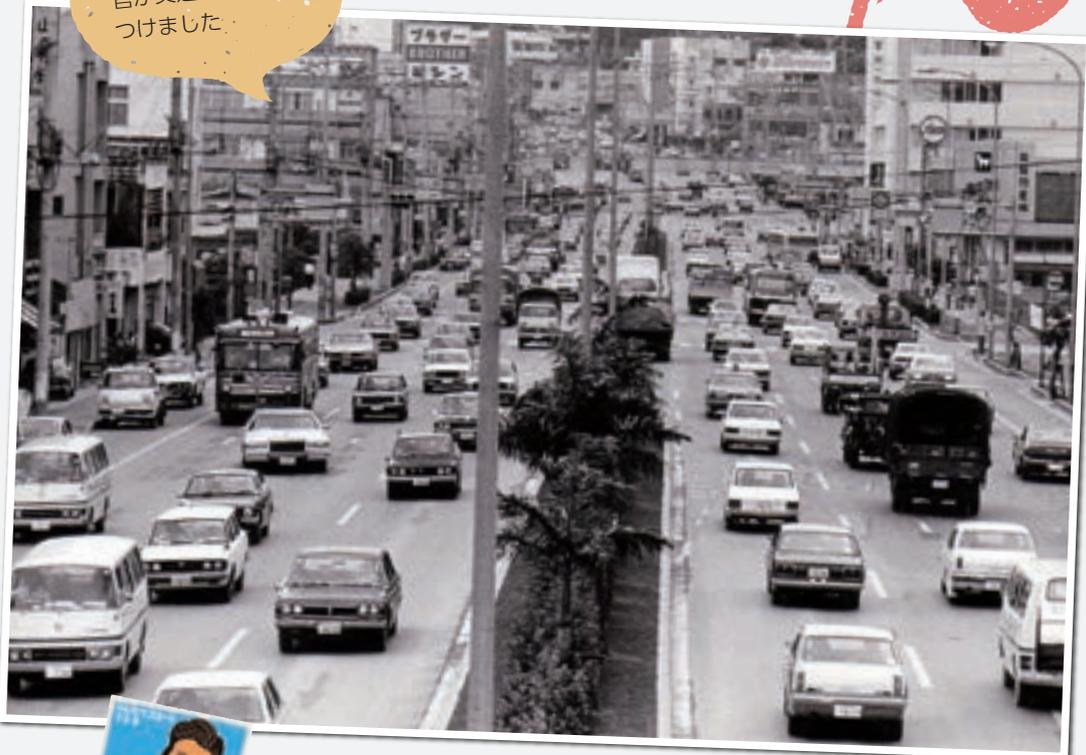
1977年～1981年、沖縄では一体どのような出来事が起き、話題になったのでしょうか？

まず1978年に大きな出来事が起こりました。「730(ナナサンマル)交通方法の変更」です。7月30日の午前6時、県下一斉に米国式の車両右側走行から日本式の左側走行へと、交通方法が変更されました。また復帰とともに始まった観光ブームは1976年以降、右肩上がりとなり、1979年に観光客は150万人を突破。沖縄経済を支える柱礎が築かれた年となりました。

さらにヤンバルクイナの発見や、ボクシング界における具志堅用高氏や渡嘉敷勝男氏の活躍など、沖縄が県外から注目を集めるニュースが相次ぎました。



県外からも多くの警官が交通整理に駆けつけました。



730以前の、国道58号那覇市泊付近 那覇市歴史博物館所蔵

730(ナナサンマル) 交通方法の変更

「人は左、車は右」から
「人は右、車は左」へ

沖縄の交通方法が、31年間続いた「人は左、車は右」から「人は右、車は左」へ変わりました。7月30日午前6時を期して県下一斉に実施され、新交通時代へ突入したのです。初日は各地で交通事故や渋滞が相次ぎ、道路は大混乱。波乱の幕開けとなりました。

ここがポイント

730以前に沖縄で利用されていた自動車は、基本的に左ハンドル車でした。ごく少数ですが、現在でも730以前に購入された左ハンドルの車両が残っています。

7月は、県産品奨励月間です

魅力がいっぱい県産品

1977年~1981年 その他主な出来事

1977年

- ・沖縄戦から33回忌で平良幸市知事による初の平和宣言
- ・豊見城高校野球部が県勢として初めて九州大会を制覇
- ・久米島で観測史上初となる雪を確認

1978年

- ・年間入域観光客150万人突破
- ・久高島の秘祭であるイザイホーが執り行なわれる

1979年

- ・琉球大学医学部が開設される
- ・具志堅用高氏ジュニアフライ級10度目となる世界王座の防衛に成功

1980年

- ・第42回国体(海邦国体)が開催内定
- ・電気料金の大幅値上げ実施

1981年

- ・県内全島の電話がダイヤル自動化
- ・渡嘉敷勝男氏WBA世界ライトフライ級王座獲得

人類の恒久平和の願いを込めて 沖縄平和祈念堂・像の完成

1978年10月1日、糸満市摩文仁の平和祈念公園内に平和祈念堂が完成し、開堂式が行われました。堂内には、戦没者への冥福と人類の恒久平和の願いが込められた平和祈念像(制作:山田真山氏)が安置されました。



沖縄平和祈念像 写真提供:OCVB



大潟水中の天願ダム 写真提供:沖縄県企業局

復帰後最悪の水事情 13年ぶりの 大干ばつが発生

1981年、沖縄は13年ぶりの大干ばつに見舞われました。その影響を受け断続的に断水や給水制限が326日間実施され、県民は慢性的な水不足に悩まされました。



ここがポイント

ヤンバルクイナ以外にも「ヤンバル」と名付く沖縄の生き物があります。ヤンバルテナゴコガネ(日本最大の甲虫)は、1985年に国の天然記念物に指定されました。



世紀のビッグニュース!

新種の鳥 「ヤンバルクイナ」が発見

国頭村の山中でヤンバルクイナが発見され、日本では94年ぶりに鳥の新種に認定されました。翌年には県指定の天然記念物となり、「世紀の大発見」は多くの人々を驚かせました。

西表島では新種のコウモリの生息もわかり、沖縄は新種ブームに!



ヤンバルクイナ

島の未来を担う、次世代の「ものづくり」

IndigoのOKINAWA.(オキナワドット)シリーズ

読谷村でオーダー家具や住居、店舗の内装を手掛ける「Indigo」。2021年から新しく、完全受注制の家具シリーズ「OKINAWA.(オキナワドット)」を作り始めた理由は、「個性の強い沖縄の木の魅力を存分に生かした家具を一から作りたい」という、店主の一念からでした。使

われる木材は主に、沖縄県産のセンダンとリュウキュウマツ。木目を生かし、木の温もりとシャープさを兼ね備えた独特の風合いが魅力です。大量供給を前提としていないからこそ丁寧に作られた家具は、長く使い続けることで味わいが増す逸品です。



【問い合わせ】
Indigo

住/読谷村楚辺1119-3
営/水・木・金
(11:00~16:00)
土(11:00~17:00) HP

